



三笠だより

舞鶴市立三笠小学校
学校だより 7月号
令和6年6月28日発行

校長室の窓から見えるもの

「校長先生、今日はじめて一輪車に乗れました。」「今日はじめて泳げました。」こんな報告を受けることほど嬉しいことはありません。校長室の窓から、毎日昼休みに一輪車の練習をしている子どもの姿が見えます。毎日できることが少しずつ増え、子どもたちは成長します。でも、すぐにできるわけではもちろんありません。毎日毎日粘り強くあきらめずに練習したからこそ、できるようになるのです。その頑張りにいつも心から拍手を贈っています。

校長室の窓から見えるへちまのつるが日に日にぐんぐん伸びるのを見るのを楽しみにしています。種まきから2か月半、毎日水やりをしながら生長の様子を確かめる4年生児童。「どう、何か変化はありますか。」と尋ねると、「本葉が増えてきました。」「へちまの赤ちゃんができています。」こんな子どもたちの豊かな感性に触れられるのも教師という仕事の魅力の一つです。畑のキュウリや万願寺甘とうもろこしの収穫の時をむかえ、満面の笑みで収穫した野菜を手にする子どもを見ていると、栽培活動を通して命を大切に育てる心が育っていることを実感します。



窓から見える「みかさ」の文字をかたどったツツジ。6月の初めに美しいピンクの花を咲かせました。これは、何十年も前から地域の方が手入れをして下さり、毎年花を咲かせています。三笠山のアジサイも色鮮やかに咲き誇り、子どもたちの活動を応援してくれています。このツツジやアジサイを見るたびに、地域の方の温かい心に感謝の思いが湧きあがります。

実感を伴った学び

5月20日21日と6年生が修学旅行に行きました。大阪城、薬師寺、二月堂、東大寺、奈良公園、友禅染体験、USJと、千三百年前の歴史に触れたり、伝統工芸を体験したり、最新の遊びを楽しんだり、充実した2日間でした。東大寺の大仏を初めて見た子どもたちは、「わあ、大きい。」と大仏を見上げて思わず声をあげていました。また二月堂から見る奈良の町並みは、千三百年前の人たちもこの景色を見ていたのかと、タイムスリップしたような気持ちになりました。昨今、SNSの発達により、すぐに何でも調べることができます。そして、何となく分かった気になります。でも、自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じることで実感を伴った学びになると子どもたちの姿を見て改めて感じました。この二日間で得た学びや寝食を共にした絆は、これからの小学校生活にも大いに活かされ、最上級生として三笠小学校のよき伝統を創ってくれることと楽しみにしています。また、1年生は園との連携活動、2・3年生は校区探検、4年生は市内の上下水道施設見学、5年生は読売新聞社・明治製菓工場見学と、学校外での学習が多くありました。どの学年も本物に触れ、学びを深めました。お世話になりました関係の皆様へ感謝申し上げます。

1学期の登校日は、あと14日となりました。蒸し暑い日が続きますが、ご家庭に置かれましても健康管理に十分ご留意いただき、充実した1学期の締めくくりができますよう、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長 高峰 真実 教職員 一同